

木造家屋建築工事におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	調理室上部の鉄骨へ木下地取り付け作業中、4m梯子を鉄骨へ掛けて、3m上部の作業場所へ梯子を上がり、鉄骨梁に渡した歩板に移ろうとした際にバランスを崩し、梯子伝いに落下して左側臀部を強打した。	61	—
1	13～14	脚立（高さ約2m）を使用し車庫の骨組みを取り付け中、強風でコンクリート床面に倒れ負傷した。	69	1～9
1	11～12	塗り替え工事現場において、脚立にのって養生作業中、バランスをくずし後方に転倒。臀部を落下地面だった排水溝蓋に強打し、臀部から腰部にかかる部分を骨折する負傷をした。	73	—
1	10～11	木材倉庫にて、ペアで木材移動の作業をしていた際、一区切りした段階で休憩に入る為、積材から降りようと脚立に足を掛けようとした時、足を掛け損い2m下に転落した。その際に右肩から落ち、右脇腹を骨折し、救急搬送された。	70	～299
1	5～6	現場で脚立で作業しているとき足を滑らせ転落した。	21	1～9
1	15～16	新築の現場で材料（木材）を持ってハシゴを登っている途中で足場に材料（木材）が当たってバランスをくずし、ハジコ（7mぐらい）から落下し、腰を強打した。	23	1～9
1	13～14	中古住宅改築のため、現場を訪れている時に、玄関のひさしの雨漏りの原因を確かめる為、脚立（約2m）に乗り、ひさしの上の天井材をめくった瞬間にバランスを崩して転落し、地面に右足のかかとをついて負傷した。	44	1～9
	11～	倉庫にて、美装工事にて使用していた美装道具一式を棚の上に後片付けするため、高さ180cmの脚立にのったところバランスを崩し、左に倒れそうだったので脚立か		

1	12	ら飛び降り、左膝に痛みがはした。当初は我慢できる程度だったので様子を見ていたが、痛みが増していった。	31	—
1	14~ 15	1階の屋根作業のために脚立を使用し、降りる時に足をすべらせ背中から落下し、肋骨を骨折した。	49	—
1	13~ 14	倉庫解体工事現場において、倉庫を解体するのに倉庫と納屋を連結している鉄骨梁を確認するため、被災者が納屋の屋根（高さ2.7m）に二段梯子を掛けて梯子に上っている時、頭が屋根下に届く程度の位置まで上ったとき、足元が1m程度後方に滑り、バランスを崩して身体が後方にそり返り、滑った梯子の上に転倒し負傷した。	73	1~ 9
2	18~19	現場でベランダの設置作業中、脚立より足を滑らせ落下し右脇腹を脚立に強打した。	65	1~ 9
2	11~12	5号棟にて玄関天井を補修していたところ、バランスを崩して脚立から落下してしまい、右手を地面についた際に右肘に痛みと違和感を感じ病院で受診したら右肘の骨折と診断された。	33	—
2	17~18	資材置場で、パレットからスレートを降ろす際に、足が滑って下にあったトラックに当たり地面に落ちた。	45	1~ 9
2	16~17	屋内の改築工事中、補強材を入れようと脚立（1.3m）の上に乗った瞬間に脚立が動いて落下した。	58	1~ 9
3	13~14	建設工事内部造作中に、横90cm×縦65cm×厚み12mmのベニヤ板を脚立（高さ85cm）の2段目（高さ55cm）にまたがり、充電ドライバー（重さ1.2kg）を右手に持って壁にベニヤ板をビス留め作業をしていて、ベニヤ板の右端を留めるために体を右に寄せたとき、バランスを崩し、充電ドライバーを持ったまま右斜め後方に倒れ、後ろにあった作業台（高さ45cm）にぶつかったあと床に倒れた。	33	1~ 9
3	14~15	解体工事中に脚立を立ててシャッターを外す作業中、左側のボルトを外し右側に移動してボルトを外そうとしたところ、突然左側のシャッターが脚立の方に倒れてきて当たったため、あわてて下りようとしたとき、前のめりに飛んでしまい、左手をつき骨折した。	64	10 ~ 29

3	11~12	リフォーム工事現場（車庫）にて、丸鋸を使い梁の切断中に脚立から落下し、右手親指を地面につき骨折した。	18	1~9
3	8~9	会社敷地内の作業場において、資材の片付け作業をしているときに、開いた状態の鉄製パイプ脚立を両手で閉じたところ、左手薬指をパイプとパイプの間に挟み、左手を受傷した。	64	10~29
3	16~17	新築工事において、脚立を使い天井下地を張る作業中、誤って足を踏み外して床に落下し、顔面を強打して顎骨を骨折し、救急搬送された。	70	1~9
3	17~18	脚立の上で作業中、脚立のバネがはずれて脚立が開き、落下して右手をついて右手首を痛めた。	48	1~9
3	13~14	外部工事において、建物ひさしの本部の防腐剤の塗装作業を脚立に乗り行っていた際に、バランスをくずして落下し、左肋骨を強打し負傷した。	34	1~9
3	13~14	家屋内で脚立を使用して天井プラスターボード取替作業中、バランスを崩して脚立から転落して、足先・肩・肘を打撲し骨折した。	62	1~9
3	11~12	平屋建て家屋の新築工事現場に於いて、高さ1m50cm足場上で軒下部分の塗装作業を行っていたところ、足場からでは届かない部分の塗装を行う為に脚立へ移動しようとしたときに目測を誤り、脚立に足を掛け損ねて地面に落下し、背中から骨盤にかけて負傷した。	48	1~9
4	16~17	改築工事の現場で、平屋の屋根波風板取付作業終了後、はしごから下りようとして落下した。	63	1~9
4	15~16	賃貸アパートに取り付けられている簡易キッチンの入れ替え作業で、吊し戸棚（縦横奥55cm×110cm×45cm、20kg）を脚立（60cm）を跨ぎ1段目に両足を乗せながら両手で持ち上げ位置あわせをしていたとき、位置が高すぎたため降りようと左足を下ろした所バランスを崩し、吊し戸棚を持ったまま転倒し、左肩後ろを強打した。	39	1~9
4	14~15	増改築工事現場にて脚立に乗り壁プラスターボード張りをしていた時、バランスを崩し脚立ごと右へ倒れてしまい、右肩右骨盤・右手小指を骨折してしまった。	51	1~9
		六尺脚立にてパワーコンディショナー取付枠を設置後、パワーコンディショナー		

4	14~ 15	(30kg) を杵に引っ掛ける際、脚立上で前のめりにバランスを崩し、パワーコンディショナーを支えきれず、設置場所よりパワーコンディショナーが落下し、後頭部に接触し頭部を裂傷した後、土間コンクリート上に飛び降り左足首を痛めた。当初打撲の診断だったが、その後ヒビが入っているとの診断を受けた。尚、脚立上への被災者に別の作業イオンが手渡しでパワーコンディショナーを渡し、作業員は、内部作業場所に移動した。	30	1~ 9
4	9~ 10	上棟作業中脚立の足元が滑り、とっさに桁をつかんだが、手が滑り背中から落下し、バタ角で腰を打った。	50	1~ 9
4	13~ 14	工場内資材置場で現場への資材持ち出し材料準備作業中、上部材料を取り出す為アルミ脚立に乗り材料を取り出し、下へ降りる際下から2段目のステップですべり土間コンクリートへ右足を強打し、右足かかとを骨折した。	39	1~ 9
4	10~ 11	新築工事現場内のインナー車庫において、養生用にはずしていた棚受けを戻そうとして右手側のレールを取り付けようとしていた。手回しドライバーとレールを持っていたため、両手がふさがった状態で4尺脚立に登り作業をしていたところ、バランスを崩して4尺脚立より落下し、手をついたときに右手首を骨折した。	29	1~ 9
5	16~ 17	物置改修工事現場にて、梁の上の束を取り除こうと脚立に乗り作業をしている時、体勢を変えようとした際バランスを崩し、高さ1,350cmから地面へ転落した。その際、左足から転落したため左足膝を負傷し、翌日に痛みが激しくなった。	60	1~ 9
5	11~ 12	改装工事の建物の外壁を工事の為、脚立(H1.8m)に登る時、3段目(約1m)の高さで足を踏み外し転落し、土台に左側頭部・顎・左手を打ちつけた為、顎の骨折・左耳の裂傷・左手小指の骨折をした。	59	1~ 9
5	14~ 15	新築工事現場で2階からはしごで下りる時、片手に材料を持っていたため不安定な状態、及びはしごの固定不良により、バランスを崩して転落し、手首を骨折した。	26	1~ 9
5	10~ 11	個人住宅改装工事現場において、2階から1階に梯子を使い降りていたとき、梯子の高さ2m位の場所で足を滑らせ土間まで滑り落ち、土間に左足から転落して左足を負傷した。	48	1~ 9
	11~	被災者が建物内部で5尺の脚立を使用し外壁調整作業中、調整が完了し移動しよう		1~

5	12	と跨っていた右足を後ろに回したところ、軸足の左足がステップより滑り、土間へ転倒（H900）し、右手首を骨折した。	33	9
5	15～ 16	当社事業所内事務所の屋根瓦のずれを直す作業が終わり、梯子を使って屋根から降りようとした時に足を滑らせ、約3m下の地面に落下し、腰と足首を骨折した。	69	1～ 9
6	16～ 17	新築工事現場において（当社元請工事）、室内の上部壁貼り作業中、脚立（高さ90cm）の2段目から最上部へ登ろうと足を掛けた。壁に立てかけてあった防火ボードを左手で掴んだ瞬間にボードが倒れてきて、ボードと共にそのまま背中から床へ転倒し、背中、腰を強打したものである。	63	10 ～ 29
6	12～ 13	一般住宅外壁塗装の作業中、ブラケット足場の作業床より作業台に降りようとした際、作業床で左足を踏み外して落下し、腰と背中を強打した。	45	1～ 9
6	17～ 18	個人宅新築工事現場で、脚立に乗ってインパクトで玄関の鴨居をビス止めしていた時、脚立の足が滑ってしまい、脚立から落ち、床へ左手をついた際に左腕を負傷した。	59	1～ 9
6	13～ 14	事業所の壁を塗装中、雨が降ってきたため、材料を屋上から1Fに下ろそうとした時、滑って脚立ごと約2m下のトラックの荷台に落下し、あばら骨と右肩を負傷した。肋骨骨折と右肩の神経が断裂した。	52	10 ～ 29
6	17～ 18	個人宅新築現場において、新築引き渡しのため、脚立に登って玄関のタイルの清掃をしていたところ、左手にバケツ、右手にブラシを持っていたためバランスを崩し、約90cmの高さから落下し、左手首と左肋骨を骨折した。	55	1～ 9
6	16～ 17	新築工事現場で、1階天井の貼り付け工事中、誤って脚立から転落し、左足首を骨折した。	58	—
7	14～15	2階建て新築工事現場で1段目の足場から、ポーチに設置されていた脚立に、移動しようとした際に脚立が倒れ体勢を崩し、ポーチ部分のコンクリートにひじ、腰付近から転落した。	65	1～ 9
7	9～10	RC造建物解体現場で、脚立にて、換気口枠を撤去中バランスを崩し、脚立から転落し左足かかとを骨折。	64	1～ 9
7	15～16	車庫の建前の構造材組立作業をしていたところ、脚立から足を踏み外し、転落し	67	1～

		た。		9
7	14~15	工事現場2階の階段室で、はしごを使って1階に下りようとした際に、2階の床より一段下がったハシゴの踏板上に足を掛けた際に、右足を踏み外し、1階の内装床パネルまで転落し被災したものの。	58	10 ~ 29
7	11~12	新築工事の現場作業中、被災者はアンカーボルトを材木につなぐ作業に従事していた。インパクトドライバーをもち脚立に上る際、約1.5mの高さの脚立から足を滑らせ右側に落下し右肘を受傷した。	67	1~ 9
7	9~10	壁復旧工事の見積検分中、旧倉庫の壁の状態を調べるために、脚立に登っていたところ、誤ってバランスを崩し高さ1.8m程度の所から地面に落下し、左足の膝を打撲負傷したものの。	44	1~ 9
7	14~ 15	外壁塗り替え作業中、屋根の上にかけたはしごを下りる際、左手に持っていたバケツが引っかかり足を滑らせ3mくらいの高さから落下した。	59	1~ 9
7	14~ 15	木造平屋建て店舗建設工事現場で間柱取付作業時、脚立から降りる際高さ1.2m付近で足を踏みはずし落下した。	57	1~ 9
7	16~ 17	新築工事現場で脚立から降りる際、足を踏み外し転倒した。腰に工具を提げていたため、床を体の間に工具が挟まり、右側尻を強く打ちつけた。立ち上がれない程の痛みを感じたため、周囲の協力を得て、車で病院を受診した。診断の結果、右腸骨骨折と診断され、その日に入院となる。	60	1~ 9
7	16~ 17	木造住宅の建築現場にて、脚立に乗って壁下地工事を行っていたところ、不安定な設置だったために脚立が倒れ、地面に腕を強打して右腕を骨折した。	32	1~ 9
7	9~ 10	個人宅2階洋室・和室改修工事の現場において、脚立（1.2m）に乗って壁張作業にあたっていたときに誤って、バランスを崩した流れで脚立から床上に落下した。その際、床に左大腿部を強打し受傷した。	69	1~ 9
7	16~ 17	事務所内にて、天井の電球（カバー）調整しようとして脚立（高さ2m）に登っていたところ、部品を落としそうになり、バランスを崩して地面に落下した。その際に、手首、あばら骨等を骨折した。	42	10 ~ 29
	11~	リフォーム工事現場において、外壁の塗装をするため、足場のタラップを使い一層		1~

7	12	目の作業床に移ろうとしたとき、バランスを崩し墜落した。その際、尻から落ちた後に床面で頭部を打ち負傷した。	63	9
7	15～ 16	リフォームのため解体された状態の宅内において、高さ1.5mの脚立上で配線工事作業中に、バランスを崩して落下した。その際、右足を着いた場所に10cm角の石があり、足を捻って右足首を骨折した。	39	1～ 9
9	10～ 11	解体現場にて、上部にある資材等を移動させるため、1.2mの高さの脚立上部に登り作業、雨のため足をすべらせ落下し、骨折した。	61	1～ 9
9	13～ 14	1階の屋根から2階の屋根に脚立で登行中足を滑らせ、バランスを崩して脚立と一緒に転倒し、骨折した。	35	1～ 9
9	8～9	塗装工事に使用するペンキを自社置き場にて車に積み込み作業中、置き場の高さ2メートルの棚に置いてあるペンキを取ろうと脚立を使用した際、バランスを崩し約90センチの高さから落下。落下した際、床に置いてあった一斗缶に左脇腹を強打してしまい負傷。しばらく我慢しながら仕事をしていたが、痛みが我慢できず病院へ、左脇腹の肋骨にヒビが入っていると診断されたものである。	26	1～ 9
9	14～ 15	新築工事現場に於いて、脚立に乗り玄関の軒天を貼る作業に従事中、足を滑らし身体のバランスを崩し転落（約1.5m位）し、左手首を骨折したものである。	40	1～ 9
9	10～ 11	新築そっくりさん工事において、既存の床を解体した状態で、6尺脚立を使用して上部の筋交い金物を取り付け作業中、脚立の天板の下の段と既存壁銅縁に足を掛けて作業をしていたところ、既存銅縁が外れ、銅縁と共に落下。その際、腰、首等を負傷した。	65	1～ 9
9	10～ 11	住宅の新築現場で、屋内で建具の取り付け作業をしているときに、脚立の2段目に乗って取り付けようとして、バランスをくずして、脚立から転倒した。	73	10 ～ 29
9	9～ 10	解体工事現場にて作業に従事中、立ち馬（高さ800足場）に乗って内装仕上げ材の取り外していた際に、腕を伸ばして高いところのビスを緩めようとして無理な体勢となったことにより、バランスを崩して転倒して落下した際に左膝を負傷した。	45	1～ 9
	12～	改修工事現場において、2階の壁下地板を張る作業中、2階の屋根に上がる為、足		1～

9	13	の伸縮が自在な脚立を1階屋根上から立てかけて上がっていた所、脚立が横滑りしてしまい脚立ごと1階屋根上に倒れて落下（高さ約1.5m）して脊椎骨折となる。	63	9
9	9～ 10	改修工事現場において、玄関で脚立に乗っての作業中、ベニヤ板が割れ転倒し、肋骨と右手首打撲。	69	1～ 9
10	14～ 15	一般住宅において、雨樋掃除作業をするため屋根に梯子をかけ、その上部を結束しようとしていったとき、梯子の足下が地面（上）でぶれてしまい、高さ約4mの位置から梯子もろとも転落し、左足首に強い痛みが生じた。	36	1～ 9
10	9～ 10	当日社務所の倒木撤去作業後、屋根上の片付作業中に従事していた。看板にとり落ちている木々等及び雨トヨに入っている枯葉等を片付終了した為、上って来た時利用したハシゴを使用し降りようと、ハシゴ2～3段に右足を掛けた瞬間、右に傾き少し斜めになりながらハシゴが滑り落ち、その時に同時にタタキに落下し負傷した。この時下のタタキは湿っていた状態で、ハシゴを他の人が支えていれば起きなかったと思われる。	67	1～ 9
10	18～ 19	現場北側土間で、外部プラスターボード施工中に脚立に登り2段目より転落。顔面を、根太に強打する。当日は、打撲だけと思い帰宅したが、翌日になり首の痛みが増した。	57	1～ 9
10	11～ 12	コンテナを置き自社の資材等を入れてあるが、そのコンテナの外周りが痛んでいたためペンキを塗る作業をしていたところ、脚立から足を踏み外し落下した時に左足を骨折した。	40	1～ 9
10	11～ 12	新築現場で2階への配管を行うため、1階から脚立を使用し作業を行っていた。脚立を登ろうとした際に下2、3段目から足を踏みはずし、壁と脚立の間に右側から落下し、土台で右大腿部を強打した。	48	1～ 9
10	9～ 10	当社事務所の屋根のトタンの貼り替えを行っていたところ、脚立から足を滑らせ落下し、ろっ骨と鎖骨を骨折した。	63	1～ 9
10	11～ 12	卵新棟現場の玄関にて壁パネル貼り作業の際、脚立から転落し、胸を打ったと考えられる。	58	1～ 9
		住宅屋根を修繕作業が終了して下に降りる時、はしごの中段あたりで足を踏み外し		

10	12～ 13	てしまい、1.5m位下のコンクリートの地面に落ち右腰を打ち動けなくなった。休養の後仕事に復帰したものの腰の違和感が取れず、再検査で機密検査を受けた所、背骨の骨折が分かり、今後の生活に支障が出ない様にコルセットを付け、安静する事の診断を受けた。	55	10 ～ 29
11	14～ 15	新築2階建アパートのシーリング施行に於いて、2階玄関ドア前の通路は一部完成されていなかったが、仕事を進めようと、通路に脚立を立てて、シーリング作業をする前の養生テープを貼っていたところ脚立から落ち通路の一部完成されていない個所から、下1階のコンクリート部分に落下した。	74	—
11	16～ 17	個人宅の車庫にて、カーポートのポリカを取り付けする際に、6尺の脚立の上から足を滑らせ、下のコンクリートに踵から落ちた為、骨にヒビが入った。	40	10 ～ 29
11	9～ 10	現場前面通路で、脚立を使用して標識の調整（部材搬入トラックと接触するため）をしていたところ、脚立の脚がグレーチングの隙間に落ちて、バランスを崩して腰から落下し、第一腰椎を圧迫骨折した。	31	1～ 9
11	13～ 14	自社倉庫内にて木材の片付け等の作業中、ロフト部分に梯子を掛け吊棚の上の木材を移動した際、バランスを崩し慌てて受木に掴まったが折れてしまい、地面に落下した。痛みが少しあったので病院で診察を受けたところ、右足底を骨折していた。	42	10 ～ 29
11	10～ 11	工事の契約にはまだ至っていない現地調査のみのため屋根寸法を測ろうとスライダーに上り、登ろうとしたが、雨が小雨から強く降り出したため作業を一旦中止しようと思い、2m位の位置でスライダーから下りようとした時に左足を滑らせ、バランスが崩れてしまい、左足から、着地をした際に左足を骨折してしまった。今後は雨が降る日は屋根調査を控える事と、スライダーの上り下りの際には足元に十分気をつけるよう注意を徹底した。	38	1～ 9
11	10～ 11	木造平屋建て新築工事現場において室内の電気配線工事をしている時、洗面所床合板の上に脚立を立て上から2段目に跨いで電線を梁部分に通したり、固定する作業をしていた。作業床のすぐ横が浴室の基礎段差部分になっており、体勢が崩れ、ヘルメットをかぶっていない状態で浴室基礎土間部分に転倒し、意識がない状態と	61	1～ 9

		なり搬送された。		
11	16~17	個人宅の軒先板張替工事にて足場解体のため、脚立で上に上ろうとしていた。脚立の2段目~3段目の途中でバランスを崩し飛び降りたところ、ちょうどその場にあったプランターに足を突っ込み、右足を捻った。その際に右足踵を骨折、及び筋を損傷したものである。	48	50~99
12	11~12	調査業務で区役所に往訪中、当区役所5階の下り階段に通じる非常扉を開けて通過する際に、下部段差に躓き転倒し、階段の踊り場まで墜落し、顔面を強打し、前頭部（額）に約10cmの裂傷と出血をし、その他、顔面に打撲傷を負ったものである。	64	10~29
12	15~16	個人宅2階のベランダ手すり塗装工事中、脚立にのって2階ベランダの鉄パイプの手すりを塗装するため、作業箇所を確認していたところ、突風にあおられバランスを崩し、地面に落下し、全身を強く打ち負傷した。	83	10~29
12	8~9	新築工事現場で、平屋建地盤より軒先3mの屋根に瓦荷上げ用の梯子（3m）を設置中に、梯子より足を滑らせ、地盤より2.5mの高さから落下し、手首・膝・首を強打し骨折した。	74	10~29
12	9~10	豚舎建設現場内で、脚立足場に乗り（H500程度）、型枠組立作業中に、脚立足場の足元が地盤沈下して転倒しかかり、脚立から下りようとしたときにバランスを崩し、握っていた脚立で指先を挟み、指先を骨折負傷した。	52	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html